

草津市シルバーだより

第81号

ふれあい

会員数

| | |
|---|------|
| 男 | 441名 |
| 女 | 225名 |
| 計 | 666名 |

令和5年1月1日現在



発行／公益社団法人 草津市シルバー人材センター 広報編集委員会
 〒525-0005 草津市志那町2554番地1 TEL (077)568-8881 FAX (077)568-8883
 ホームページアドレス <https://webc.sjc.ne.jp/kusatsu/> eメールアドレス kusatsu@sjc.ne.jp

手を上げる 子どもはあなたを信じてる 全国交通安全



絵手紙投稿：加藤悠紀子 (草津第二)

目次

- ・新年あいさつ……………1・2頁
- ・各委員会取り組み……………3頁
- ・研修会／講習会／各種イベント……………4・5頁
- ・会員のひろば……………6・7頁
- ・事務局だより……………8頁

新年のごあいさつ

理事長 山本 康次良



新年あけましておめでと
 うございます。
 会員の皆様におかれま
 ては、健やかで晴れやかな
 新年を迎えられたこと心
 よりお祝い申し上げます。

また、市民の皆様はじめ関係機関各位には、
 日頃より当センターの事業運営に格別なご理解
 ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

さて、令和4年度版「高齢社会白書」によ
 りますと、65歳以上の人口は過去最高の3、
 621万人で、日本の総人口に占める割合は
 28.9%を占めています。

一方、高齢者の就業率は、65～69歳で5.3%、
 70～74歳で3.2.6%、75歳以上で

10.5%といずれも過去最高で、労働人口減少が懸念されるなか、意欲がある限り年齢に関わりなく働き続けることが可能な「生涯現役社会」の実現がますます重要となっております。

しかしながら、シルバー人材センターにおきましては、一般企業の定年延長などの継続雇用制度の義務化や、高齢者の就業ニーズの多様化の影響により、60歳代の入会者が減少している一方で、会員の平均年齢が年々上昇しております。

また、新型コロナウイルス感染症のまん延が事業の運営に大きく影響を及ぼしており、今後も、終息の時期が見えない状況にあります。

また、令和5年10月から導入されますインボイス制度は、シルバー事業に大きな影響を及ぼすことから、国の動向を見極めながら、今後の方策を検討していく必要があります。

このような厳しい状況下にあっても、地域に密着した就業機会を提供することにより、就業先として、また、発注先として「選んでもらえる」シルバー人材センターでありたいものです。

今年も、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」に基づき、地域に役立ち、会員が生きがいを感じられるシルバー人材センターを目指してまいります。

最後に、会員の皆さま、関係各位のご支援、ご協力をお願い致しますとともに、皆さまの健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

新年を迎えて

草津市長 橋川 渉



新年あけましておめでと
うございます。

公益社団法人草津市シルバー人材センターの会員の皆様方におかれましては、

輝かしい新年をお迎えになり、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

日頃は、市政各般にわたり格別の御理解と御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、貴センターにおかれましては、センターの基本理念である「自主・自立、共働・共助」の下、会員の皆様方が長年培ってこられた豊富な経験や知識、能力を存分に発揮できる就業機会を提供され、地域社会の福祉の向上と活性化に寄与いただいていることに感謝申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症や物価上昇の影響により、景気動向についてもまだまだ厳しい状況が続いており、貴センターにおかれましては、大変御苦労いただきながら、事業運営いただいたことと存じます。こうした中で、会員の皆様方の就業機会が確保・継続されており

ますことは、貴センターの絶え間ない受注活動や、企業等からの会員の皆様方への信頼の表れと深く敬意を表するところでございます。

本市といたしましても、「健幸都市」や「ゼロカーボンシティ」を掲げ、さらに暮らしやすく、幸せを実感していただけるようなまちづくりを目指して、生き生きと働く皆様と共に、喜びを分かち合える市政を推進してまいりたいと考えておりますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、公益社団法人草津市シルバー人材センターの今後ますますの御発展と、会員の皆様方の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

草津市議会議員 中嶋 昭雄



新年明けましておめでと
うございます。

公益社団法人草津市シルバー人材センターの会員の皆様はじめ役員の皆様方に

おかれましては、穏やかに新年をお迎えになられたことと謹んでお慶び申し上げます。

日頃は、多様な就業機会の提供と地域の活性化にご尽力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症とのつき合い方に一定のめどがたち、本格的に社会、経済、文化活動が再開したものの、不安定な世界情勢等により、先行き不透明な状況が続いております。また、少子高齢化が進み、生産年齢人口が減少していく局面も迎えており、誰もが安心して暮らせる持続可能な社会であり続けるためには、一人ひとりが健康で生き生きと活躍できる環境づくりが、これまで以上に重要となっていくところです。

このようなか、豊かな知識や経験、熟練された技能を活かし、市民の方々の暮らしや地域社会を支えていただく貴センターの活動は大変尊く、また、生涯現役で果敢に挑戦し活躍される会員皆様方のお姿は、後に続く方々に対しても大変心強く、希望の光となるものでございます。市議会といたしましても、市行政と連携し、一人でも多くの皆様方、生涯現役で活躍していただけるまちづくりに尽力してまいりますので、引き続き会員の皆様方のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、草津市シルバー人材センターの益々のご発展と、皆様方のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

各委員会の取り組み

安全就業適正委員会

「安全はすべてに優先する」を合言葉に、会員の安全就業についての啓発や安全パトロールなどを実施しています。

今年度の定時総会後には、滋賀労働局から講師を招いて「安全大会」を実施し、普段からのけがの防止や高所作業の注意事項などを学びました。

最近では夏場の熱中症対策や新型コロナウイルスの感染対策など、健康面の取り組みも重要になっています。今後もこれらを念頭に取り組みを進めます。

就業開拓委員会

今年度はパソコン入力や受付などの事務系業務と、封入やラベル貼りなどの内職業務の就業開拓に取り組んでいます。

感染症の影響もあり、昨年度に引き続き、事業所訪問は控えています。

草津商工会議所などの会報誌を活用して、約2,600社にチラシを配付し、求人中の事業所約35社にチラシを送付しました。

新しい試みとしては、市役所1階のモニターにて、就業開拓と会員拡大を目的とした映像を12月1日から流しています。

会員拡大委員会

入会説明会の案内チラシを作成し、新聞折込みを8月に実施し、同時に作成したチラシを関係各所に配置して頂くよう依頼しました。

12月下旬に入会案内チラシの湖南フリモへの折込を実施し、1月にシルバー人材センターの広報活動と女性会員をターゲットとした女性限定説明会の実施、2月に令和5年度の入会案内チラシの折込みを予定しています。

また、12月1日から、就業開拓委員会と同じく、市役所1階の大型モニターで就業開拓と会員拡大のために情報発信を行っています。

また、来年度から、入会説明会の会場をシルバー事務所から草津駅前のキラリ工に変更する方向で調整を行っています。

事業運営委員会

昨年度から検討していましたが「独自事業提案募集制度」について、10月1日に施行したところです。また、請負代金のコンビニ支払について検討し、12月分の請求から取り扱いを開始しました。

また、12月9日に介護予防と食事についての研修、21日には草津市未来ノートについての研修、年が明けて1月25日にスマホ研修を開催しました。さらに、今年度の会員満足度調査を実施してまいります。

活動紹介

◎シルバー環境美化週間 環境ボランティア活動



令和4年10月9日～15日をシルバー環境美化週間として、各地域班がそれぞれの日程で清掃ボランティア活動を行いました。昨年度から、新型コロナウイルス感染症を避けるため、

地域ごとに分かれて実施しています。

この取り組みは、毎年10月を「シルバー人材センター事業普及啓発月間」とし、その一環としてシルバー人材センターの活動を市民の皆さんに広く知っていただくと共に、環境保全に貢献しようとするものです。

各地域の会員、総勢85名が参加し、それぞれ約1時間かけて、紙くずや缶、ビン等を拾い集めました。普段何気なく通り過ぎていた道にもよく見るとゴミが落ちています。拾っていくうちに、たくさんゴミが集まり、地域をきれいにすることができました。今回の活動では、全地域を合わせて、焼却ごみや空き缶、びん類など42袋が集まりました。

◎VRで体験 交通安全教室

令和4年10月27日に、草津警察署交通課の井畑巡查部長を講師にお招きして、交通安全教室を開催し、19人が参加しました。

今回は、草津市内で初めてVRゴーグルを使って、道路の歩行体験をしました。

VRとは、ヴァーチャルリアリティ（仮想現実）の略で、専用のゴーグルをつけて人間の視界を覆うように360度の映像を映すことで、実際にその空間にいるような感覚を得られる技術です。

ゴーグルをつけて右を向くと映像も右側が映り、歩くと映像も前に進みます。参加者は、昼間や夜間、交通量など条件を変えた仮想現実の中で、何度も左右から走ってくる車を確認しながら、安全なタイミングを見計らって、仮想の道路を横断し、安全確認の大切さを学びました。



◎健康づくり研修会 おいしく食べて健康長寿

令和4年12月9日に、「簡単！ちよつこの工夫でおいしく食べていきいき健康長寿」研修会を開催し、16人が参加しました。

滋賀県栄養士の市木圭子さんを講師に迎え、まず「フレイル」状態について教えてもらいました。「食事の準備が面倒で、つい同じメニューで済ませてしまう」「最近、病気でもないのにやせてきた」といった人は、「低栄養」になっているかもしれません。低栄養では、心身の機能が低下して「衰弱」した「フレイル」と言われる状態になり、そのままにしていると要介護状態に至ってしまうと言われています。

フレイルの予防には「運動」「社会参加」そしてバランスの取れた「食事」が大切です。

研修会では、スーパーやコンビニのお惣菜や缶詰等を利用した食事の工夫を教えてもらい、意外と気づいていない便利な食材に、参加者は興味津々の様子でした。



● 人生の最期まで自分らしく生きる
草津市未来ノート研修



令和4年12月21日に、草津市在宅医療介護連携センターの吉村明浩さんを講師に迎え「草津市未来ノート研修」を開催し、12人が参加しました。

「草津市未来ノート」とは、自分と大切な家族や友人のために、希望する治療や療養生活、そしてどのような最期を迎えたいかという大切な思いをまとめるための「エンディングノート」です。

元氣なうちは、人生の最期を考えることを意識しないかもしれません。しかし、いこの危険がせまったときには、約7割の人が医療やケアを自分で決めたり、望みを人に伝えたりすることができなくなると言われています。

未来ノートを「元氣なうちに、気楽に用意して、気が変わったら気楽に書き換えましょう」と一同、納得の研修会でした。



いろいろなイベントでシルバー人材センターをアピール



新型コロナウイルス禍で中止されていたイベントが、そろりそろりと復活してきています。そんな中、草津市シルバー人材センターも、いろいろなイベントに参加しています。今年度は、エコクラブの皆さんが、令和4年9月3日にキラリエで「エコライフフェア」、10月29日には、大津市のなぎさ公園サンシャインビーチで、滋賀県シルバー人材センター連合会主催の「シルバーフェスティバルin大津」、11月20日には、南草津駅周辺で「みなくさまつり」に参加しました。

エコクラブに参加しませんか

エコクラブに参加しませんか。リフォームや手芸、手作りおもちゃなど、もの作りが好きな方はぜひご参加ください。男性会員様もお待ちしています。希望者はセンターまでお申し出ください。

リフォームクラブ 代表：飯沼
手芸クラブ 代表：木内
手作りおもちゃなど色々 代表：渋田



各地域のふれあいまつりも、少しずつ活動を広げられており、10月15日に南笠東まちづくりセンターで「南笠東合同フェスタ」、11月13日には、山田まちづくりセンターで「山田ふれあいまつり」に参加することができました。各イベントでは、エコクラブ会員手作りの小物や服、おもちゃなどを販売したり、ふれあいまつりでは地域の役員や班長さんも加わったりして、草津市シルバー人材センターをアピールしました。



順不同

俳句

常盤地域班 野澤 緋美

秋雨の

野山の色も

変り行く

陶器市

あちこちにぎあう

秋日和

川柳

草津地域班 阿部 榮一

経路(敬老)の

行く手決まらず

曲がり角

逢引きは

天橋立

天の川

笠縫東地域班 西川 永興

鮮やかに

イガ栗割れて

伊賀の里

踊り好き

タンゴが上手い

丹後の人

山田地域班 斉藤 剛

先ず最初

生きていたのか

同窓会

憧れの

マドンナいずこ

クラス会

川柳同好会参加者募集

川柳を勉強すると、脳の活性化につながり、物忘れや認知症予防にもなります。

同好会は、去年の6月に立ちあげ、毎月第3木曜日の13時30分から、4人で活動しています。

新規参加者と見学者を募集します。

・メンバー 齊藤剛(講師)、阿部榮一、立花徹也、西川永興

それって…

老上地域班 Sさん

最近よく耳にする「それって昭和やん」という言葉。戦争が終わって何もかも失い、激動の時代を体験した「昭和育ち」の土台があつてこそ今の今だと思つ。あらゆる進化は当たり前前ではない。昭和レトロ?冗談じゃない。いずれ令和育ちから言われるよ。「それって平成やん」ってね。

「御社」と「貴社」の違いって?

「貴社」は「きしゃ」と読み、御社と同じく会社や神社を敬つていう言葉。主に書き言葉で使います。

もともとは書き言葉も話し言葉も「貴社」が使われていたのですが、「記者」や「汽車」、「帰社」などの同音異義語が多く紛らわしかったため、話し言葉では「御社」を使うようになりました。

「御社」は「おんしゃ」と読み、会社や神社を敬つていう言葉です。主に話し言葉で使います。

【例】

(面接の場で) 内定を頂いた際は、御社に入社すると心に決めています。

雑学



人形制作：加藤悠紀子（草津第二）

脳
トシタイム
💡

問1…空欄に文字を入れて熟語を作りましょう

1. 残 ↓ □ → 者
堪 → □ → 者
耐 ↓ □ → 者

2. 寝 ↓ □ → 屋
起 → □ → 屋
下 ↓ □ → 屋

3. 仕 ↓ □ → 件
民 → □ → 件
故 ↓ □ → 件

4. 楽 ↓ □ → 子
布 → □ → 子
結 ↓ □ → 子

問2…次の漢字を組み合わせて熟語を作りましょう

第1問 二十馬 + ム + 尺 + イ

第2問 内 + 田 + 木 + 十 + 人

シルバー人材センターの
独自事業提案募集

会員の皆さんの特技やアイデアを「仕事」にできるように、「独自事業提案制度」を創設しました。

シルバー人材センターで「事業化」できそうな提案がありましたら、気軽にご相談ください。

・3人以上のグループで提案してください。
・独自事業の運営は、提案したグループが自主的に行います。

・事務費、材料費、その他必要経費を差し引いて出た「利益」をグループの皆さんで配分します。

・「独自事業」の提案をいただいたら、皆さんと一緒に「事業」として始められるか検討して「事業運営委員会 および「理事会」で承認を得ます。

・初期投資が必要な場合は、基本的に提案グループの皆さんで御用意ください。許認可が必要な場合は取得してください。シルバー人材センターの施設や備品が利用できる場合もありますので、ご相談ください。

他市の例

各種カルチャー教室（英会話、書道、絵画、囲碁・将棋等）、健康づくり体操教室、パソコン・スマホ教室、リフォーム・仕立て直し、夏休みの宿題・工作相談会、入園・進級準備や学校提出物作成、刃物砥ぎ 等々

事務局だよ!

作業料金のコンビニ支払開始

当センターでは、銀行振込だけでは不便だという発注者様のご要望に応えるため、作業料金をコンビニで支払えるようにいたしました。

今後、個人や要望のあった法人のお客様には、土日・祝日でも、24時間、いつでもお支払いいただけるコンビニ支払用の請求書をお送りします。会員の皆様もご承知おきください。

なお、銀行振込でのお支払いも可能です。コンビニ支払、銀行振込とも振込手数料はお客様負担です。

コンビニ支払振込手数料

- ・ 5万円未満 171円
- ・ 5万円以上 371円

※30万円を超えると、コンビニ支払の取り扱いができません。銀行振り込みでお支払いください。

請負業務 配分金支払日

| | | |
|-----|-------|-----|
| 1月分 | 2月20日 | (月) |
| 2月分 | 3月20日 | (月) |
| 3月分 | 4月20日 | (木) |
| 4月分 | 5月22日 | (月) |
| 5月分 | 6月20日 | (火) |
| 6月分 | 7月20日 | (木) |
| 7月分 | 8月21日 | (月) |

会員募集のお願い

会員の皆様のお友達、ご近所、お知り合いの方に、当シルバー人材センターに入会いただけるようお勧めください。

● 入会資格は

- ① 市内に居住している方
- ② 概ね60歳以上の方
- ③ 健康で働く意欲のある方

● 入会説明会は

- ① 草津市立市民交流プラザ(フエリ工南草津) 毎月第1火曜日(祝日の場合は翌日) 午後1時30分から
- ② シルバー人材センター会議室 毎月第3月曜日(祝日の場合は翌日) 午後1時30分から

※②は、4月から日程を変更して、草津市立市民総合交流センター(キラリ工草津)で実施する予定です。詳しくはお問い合わせください。

派遣業務 給与支払日

| | | |
|-----|-------|-----|
| 1月分 | 2月20日 | (月) |
| 2月分 | 3月20日 | (月) |
| 3月分 | 4月20日 | (木) |
| 4月分 | 5月19日 | (金) |
| 5月分 | 6月20日 | (火) |
| 6月分 | 7月20日 | (木) |
| 7月分 | 8月18日 | (金) |

ふれあいの表紙の写真と

原稿を募集しています

令和5年8月に発行する「ふれあい」に掲載する写真、原稿を6月15日(木)までに事務局までお願いいたします。

編集後記

新年あけましておめでとございます。

今年も良い年でありませうに、と言いたるところですが、世情不安、物資不足等により物価が高騰して暮らしに影を落としている状況です。

しかし、人間そのよつな中にあっても協力すること何とかなると信じています。

広報誌「ふれあい」は皆さんの一助となれるよう、仕事の情報、ほっとする情報を今後も発信して行く予定です。

皆さんの参加、活用をお願いして、何とかなるように祈念して頑張りますように。

広報編集委員一同

監査 田中 昭二

写真、原稿 田中 昭二

田中 昭二

電話 026-221-1111

〒310-0201 茨城県水戸市